

## 第6学年社会科学学習指導案

平成30年6月26日

### 1 単元名 3人の武将と天下統一

#### 2 単元目標

- 3人の武将の行動や考え方、業績をもとに、戦国の世の中が次第に統一されていった様子を理解することができる。 (知識・理解)
- 年表や絵図、文章などの資料から3人の武将の業績などを調べてまとめるとともに、それぞれの政策のねらいについて思考・判断したことを適切に表現することができる。 (思考・判断・表現)

#### 3 単元について

##### (1) 教材観

本単元は、学習指導要領第6学年の目標(1)「国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てようとする。」を受けて、内容(1)「我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。」を考えるようにする。その中のオ「キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一、江戸幕府の始まり、参勤交代、鎖国について調べ、戦国の世が統一され、身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かる。」を受けて設定されている。

本単元では、織田信長、豊臣秀吉によって戦国の世の中が統一され、徳川家康が江戸幕府を開いたことにより、長く安定した、武士を中心とした社会の基礎がつけられたことがわかることをねらいとしている。この3人の武将は性格や考え方は違うが、天下統一という願いをもっていたという共通点がある。また、3人には多くの業績やエピソードがあるので、興味・関心を持ちやすく、互いを比較しながら天下統一に向けた取り組みの共通点や違いについて考えることができる。

##### (2) 児童観

本学級の児童は、男子10名、女子6名、合計16名の学級である。社会科が好きで、進んで歴史の本を選んで読む児童が多い。社会科の授業を楽しみにしている児童も多く、意欲的に学習に向かっている。しかし、間違ふことへの恐れも強く、相手の反応を気にしてしまう児童も多いため、発言を躊躇してしまう場面も見られる。周囲からの共感を得て上手に話そうとするため、自分の思いを表現したり、相手の意見に反論したりすることを難しく感じている。また、相手の意見を否定的に捉えることはなく温かい雰囲気の中で学習を進められるが、その分、相手の意見に流されてしまう現状がある。「〇〇さんに質問があります」や「〇〇さんに付け加えて」などのつながりの言葉を使いながら、児童同士でつながり合い、意見をぶつけ合えるよう指導を続けている。また、ディスカッションなどの学習や資料を基に、児童の興味・関心や問題意識を喚起するような学習問題を共に作り、主体的に学習に取り組んでいく態度を身に付けさせ、歴史的事象に対する自分の考えをもたせていきたいと考える。

社会科に関しては、6年生になり、我が国の歴史について学習を進めている。縄文時代から室町時代の学習の中では、学習問題に対する予想、資料を活用した思考、全体での練り上げという流れで進めている。年表や絵図、文章資料等から自分の考えを持ち、根拠を持って相手に伝える力が少しずつ身につけてきている。しかし、複数の資料から社会的事象や事実を把握する力は、まだ十分に身につけていない。そこで、本単元では、複数の資料から社会的事象を把握し、根拠を持って表

現する学習を行いながら、自分の考えを明確に表現する力をつけていきたい。

### (3) 指導観

学習にあたっては、まず、長篠合戦屏風絵から両軍の戦い方の違いを調べたり、年表から信長、秀吉、家康の3人が同じ時代に全国統一をめざしていたことに気付いたりすることにより、興味を持って単元を貫く課題を設定したいと考える。各自が3人のうち誰かを選んで調べ学習を進め、人物の業績や願いを伝え合う活動を通して、時代の流れをつかむことができるようにする。

次に、3人の武将の業績や政策に込められたねらいを全員で考えていく。本時では、信長の行った「楽市楽座」「堺の支配」「南蛮貿易」の政策にはどのようなねらいがあり、それが天下統一のために、どのように意味があったのか考えていく。織田軍の持つ圧倒的な鉄砲の数とそれを購入するためにかかる費用を示し、軍事的な面だけではなく、経済面に着目させるようにしたい。軍事的な出来事や取り組みだけでなく、経済面にも力を入れて天下統一をめざした信長のねらいを踏まえ、授業の後半には信長になりきってインタビューに答える時間を設定する。それによって当時の様子を自分事とし捉えて考えることができるものと思う。信長の学習の後は、豊臣秀吉について学習を進める。秀吉は人々の支配にも力を入れ、農民と武士の違いが曖昧で反乱の可能性がある状況の中で、身分を区別して、武士が世の中を治めやすくしていったことを捉えさせたい。徳川家康は安定した世の中が長く続くように、大名の支配に力を入れていったことを捉えさせる。秀吉も家康も、信長同様、その人物になりきってインタビューに答えるようにする。3人ともに共通して尋ねるインタビューは「さらに強くなるために、今後どんなことに取り組んでいきますか。」という質問である。その人物の業績や時代背景、諸政策のねらいを答えられるようにしていきたい。

まとめとして3人の武将の中で最も天下統一に貢献したのは誰なのか考える。当時の出来事を押さえるだけでなく、その出来事が起こった背景や目的、そこに込められた願いを考えることで、より多角的に物事を捉えることができ、深い思考につながるものと考えている。そこではグループやクラス全体に伝える場面をつくることで、本校の研究の視点(3)「根拠をもって自分の言葉で伝え合い、お互いの考えを深める場の充実」を目指したいと考えている。

## 4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
① 3人の武将の業績について興味を持ち、それについて意欲的に調べようとしている。	① 戦国の世の中が統一されたことや、それらに関わる人物の願いや働き、代表的な文化遺産の意味などについて思考・判断したことを適切に表現している。	① 戦国の世の中が織田信長、豊臣秀吉、徳川家康らによって統一されていく様子について、年表や絵図、文章などの資料を効果的に活用して具体的に調べている。	① 戦国の世の中を統一するために、信長・秀吉・家康がすすめた業績について理解している。

6 本時の学習（5／9）

(1) 目標

信長の行った「楽市楽座」「堺の支配」「南蛮貿易」の政策にはどのようなねらいがあったのか、また、天下統一のために重要なことは何か、資料をもとに自分の考えをもち、表現している。

【思考・判断・表現】

(2) 授業仮説

信長の行った「堺の支配」「南蛮貿易」「楽市楽座」の政策に視点を当てて見ることで、軍事面だけでなく経済面にも力を注いでいた信長の思いやねらいを一層深く考えることができるだろう。

(3) 準備

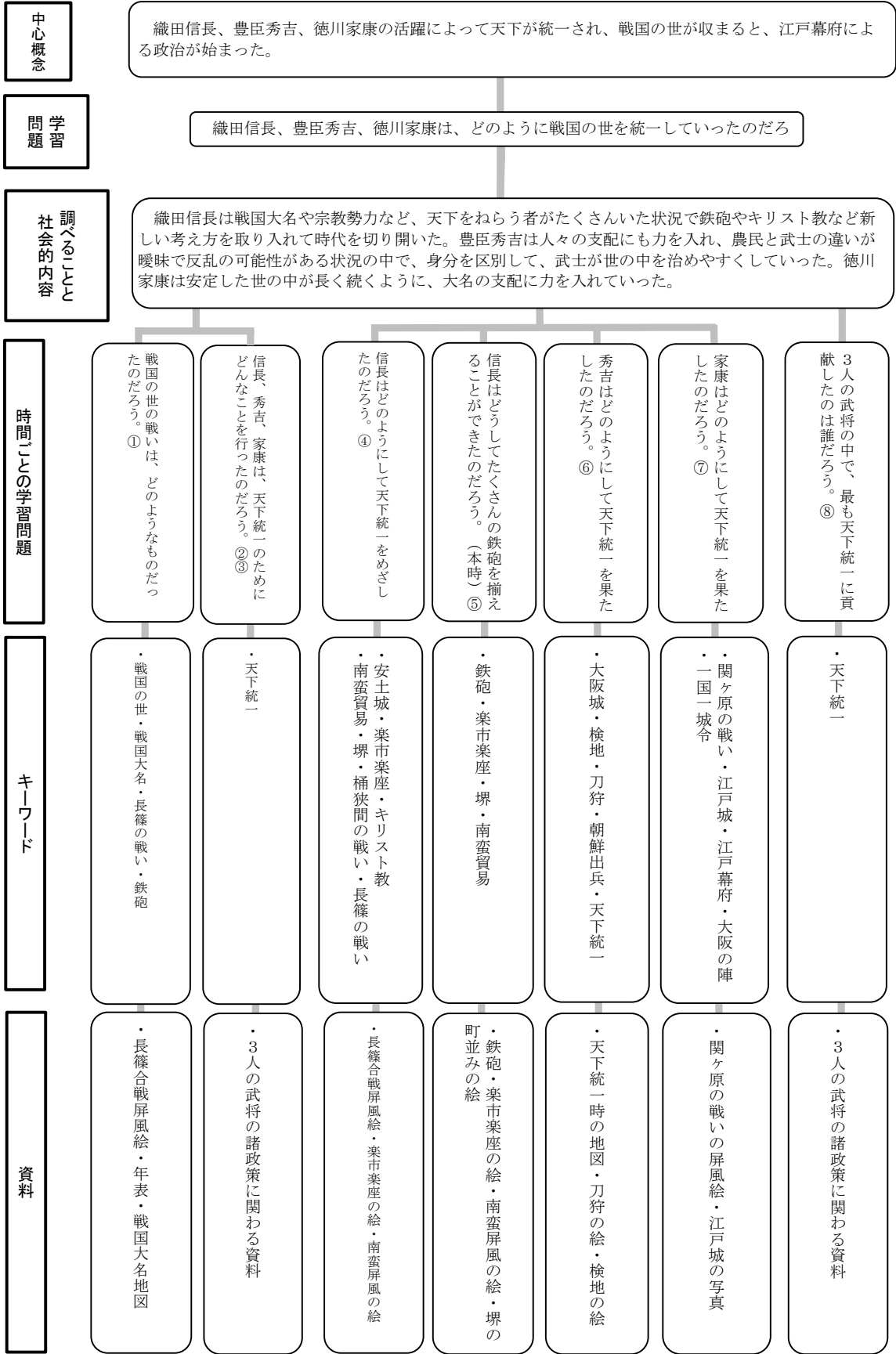
ワークシート、「堺の支配」「南蛮貿易」「楽市楽座」の資料、付箋、プロジェクター、

(4) 学習過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	教師の支援と評価◎ (評価方法)
つかむ	1 信長が鉄砲を使用したことによって天下統一に近づいたことをふり返る。	○信長が長篠の戦いに勝利し、天下統一に近づいたのはどうしてだろう。 ・鉄砲を使用して戦に勝つことができたから。 ・多くの鉄砲で相手を圧倒したから。 ○信長がたくさんの鉄砲を揃えることができたのはなぜだろう。 ・お金がたくさんあったからかな。 ・たくさん鉄砲を買えるお金を持っていたからかな。	○鉄砲の使用によって戦い方が大きく変わり、天下統一に近づく要因になったことを押さえる。 ○パワーポイントの「戦国ニュース」から、本時のめあてと学習の流れを把握し、ゴールイメージをもたせるようにする。
	信長はどうしてたくさんの鉄砲をそろえることができたのだろう。		
調べる	2 「堺の支配」「南蛮貿易」「楽市楽座」の資料から信長が手に入れたものを考える。	○「堺の支配」「南蛮貿易」「楽市楽座」の資料を見て、それぞれの政策から信長が手に入れたものを見つけよう。 ・堺の支配によって莫大なお金を手に入れた。また、鉄砲をつくる職人や技術を手に入れた。 ・南蛮貿易では多くの利益を手に入れた。 ・鉄砲の材料となる硝石や鉛を手に入れた。 ・楽市楽座では多くのお金を手に入れた。	○信長が手に入れたものを付箋に書くよう伝える。その際、堺の支配については緑色の付箋、南蛮貿易については青色、楽市楽座に関しては赤色に書く。 ○1枚の付箋に手に入れたものを1つ書くことも伝える。 ○資料の読み取りが難しい児童に対しては、資料のキーワードに線を引かせたり、印をつけたりするよう支援する。

調べる	<p>3 資料から読み取ったことを全体で共有し、共通点を見つける。</p>	<p>○ 3つの政策から信長が手に入れたものを見て、気付いたことを伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「堺の支配」「南蛮貿易」「楽市楽座」の3つとも、お金を集めています。</li> <li>・ 3つの政策にはたくさんのお金を集めるという共通点があります。</li> <li>・「堺の支配」「南蛮貿易」は鉄砲という言葉が共通のキーワードになっています。</li> <li>・「堺の支配」「南蛮貿易」は鉄砲をつくることができるというねらいがあったと思います。</li> </ul>	<p>○理由をつけて自分の考えが伝えられるようにする。また、似ている考えの児童に発言を促し、考えが深まるようにする。</p> <p>○全体で3つの政策から信長が手に入れたものを共有する。その際、キーワードとなる言葉を板書していく。</p> <p>○キーワードごとに各自が書いた付箋を黒板に貼る。</p> <p>○班での伝え合いを行い、自分の考えと相手の考えを比較させ、ふくらませる。</p> <p>○莫大な財で鉄砲を手に入れることができ、また、そのことが天下統一に結びついていることに気付かせる。</p> <p>○3つの政策でお金や鉄砲をそろえることができ、天下統一に近づくことができたことを押さえる。</p>
まとめる	<p>4 信長になりきり、インタビューを行う。</p>	<p>○ どうしてたくさん鉄砲をそろえることができたのかですか。また、さらに強くなるために、今後どんなことに取り組んでいきますか。</p> <p>・堺の支配、南蛮貿易、楽市楽座に多くのお金を集めたのでたくさん鉄砲を買うことができました。また、堺では鉄砲をつくることができ、南蛮貿易では鉄砲の材料も手にできたので、たくさん鉄砲をそろえることができました。これから先、さらに鉄砲や武器を増やし、戦力を挙げていきたいです。さらに、他の戦国大名が力をもてなくなるような政策を考えていき、天下統一をめざしていきたいです。</p>	<p>◎信長の行った「楽市楽座」「堺の支配」「南蛮貿易」の政策にはどのようなねらいがあったのか、また、天下統一のために重要なことは何か、資料をもとに自分の考えをもち、表現している。 (発表、ワークシート)</p>
	<p>5 学習のふり返りをする。</p>	<p>○ 今日の学習のふり返りを書きましょう。</p>	<p>○次の学習で調べたいことを書くように促す。</p>

5 単元計画と構造図 (8時間扱い)



関・意・態	①						
思・判・表		①	①	①	①	①	①
技能	①	①					
知識・理解		①	①				①